

2022 年 12 月 6 日

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター
重要インフラグループマイクロソフト製「Edge (Chromium ベース)」のセキュリティ更新
プログラムについて (注意喚起)

1. 対象ソフトウェア
 - ・ Microsoft Edge (Chromium ベース、108.0.1462.42 より前のバージョン)
2. 脆弱性悪用による影響等
 - 任意のコードを実行 (プログラムの実行、異常終了、当該コンピュータに保存されているデータの改ざん・削除・漏洩等) される恐れがある脆弱性が含まれます。
3. 深刻度
 - The Chromium Projects が深刻度「High」(4 段階中、上から 2 番目) に分類する脆弱性が含まれます。
4. 悪用
 - 開発元により本脆弱性の悪用が確認されています。
5. 対応
 - 対象ソフトウェアを最新のバージョンに更新してください (詳細は参考 URL 参照)。
6. その他
 - 特に無し。

参考 URL

- ・ Release notes for Microsoft Edge Security Updates (マイクロソフト)
<https://docs.microsoft.com/en-us/edge/microsoft-edge-relnotes-security>
- ・ セキュリティ更新プログラムガイド (マイクロソフト)
<https://msrc.microsoft.com/update-guide/>
- ・ Stable Channel Update for Desktop (グーグル)
<https://chromereleases.googleblog.com/2022/12/stable-channel-update-for-desktop.html>
- ・ Severity Guidelines for Security Issues (Chromium Project)
<https://www.chromium.org/developers/severity-guidelines>